

GREEN PARK FUNABASHI 802



OPEN HOUSE

6.12
2026

Starting

9:00

Produced by Trining team

CONTENTS

01	PROJECT OVERVIEW	
	研修概要	04
	工程表	05
	DRAWINGS & PLANS	06
02	MEMBER	
	インストラクター紹介	07
	サポーター紹介	10
03	CONSTRUCTION GALLERY	
	解体工事	08
	墨出し	09
	金属工事	11
	大工工事	12
	塗装工事・仮設工事	13
04	VOICE	
	研修参加者の声	14

研修概要

■目的

現場配属前の新卒教育を充実させ、新卒社員はもとより先輩社員の負担を低減することが目的である。それにより新卒職員の離職率の低減を図ると共に、一般他社と比較された際に「よく教育された新人」という印象を顧客に与えKGRITのさらなる印象向上を目指す。

■到達目標

- ・先輩方の力量や、教育のやり方の違いによる新卒社員の個々の力量に大きな差異が無い様な教育体系を構築する。
- ・教育実施後に現場配属した段階で先輩職員の助けに多少でもなり得る様に教育を行う。
- ・基本的な内装材料の名前を実物を見ながら覚え、材料の特性・違いを知ってもらう。
- ・図面の基本的な見方と納まりを考慮した墨出しの意味が理解できるように。
- ・内装工事の一連の工事進行を見て学ぶ。可能な限り実際に作業をして学ぶ。
- ・新卒社員の性格に依る力量の差を少なくする。

【今までのOJTじゃダメなのですか？】

●良いと感じた点

- ・社内外の様々な人達と関われる。
- ・リアルな現場の進行・業務内容を知ることが出来る。
- ・店舗・オフィス・ホテルのどれかに偏らず様々な用途の工事を体験できる。
- ・社内の人的余裕が無い中で1週間程度のローテーションで有ればOJT担当を請負える。
- ・先輩職員が新卒と関わり人物を知った上で、OJT終了後に新卒の人員配置を社内検討出来る。

●不十分と感じた点

- ・着工から竣工まで一連の作業を体験する事無く、次の現場に配置されてしまう。
- ・上記要因により研修期間中の経験内容に差が出る。
- ・現場管理の力量がゼロである状態なので、養生・清掃・荷揚げ等の単純作業の要員になりがち。
- ・対応する先輩職員の力量と忙しさに受ける影響が大きく、研修内容の均一化・平準化が期待できない。

【既知の問題点・不十分と感じた点の補足】

- ・受け入れた先輩社員の繁忙さによっては、OJTが機能せず放置状態になってしまう。それにより新卒社員の知識量が大きく違ってしまい、1年程度で大きく新卒社員の力量の差が出る。
- ・知識がほぼゼロの新卒社員を先輩社員が受け入れること自体が先輩社員は勿論、新卒社員の精神的負担になってしまう。
- ・建設語が通じないので、1つの事をやってもらう際に10の説明が常に必要になる。
- ・図面は絵ではなく集約された情報である事がわからず、納まり決定のアプローチがわからない。
- ・新卒社員はどうしても忙しい現場をたらい回す事になりがちで、工事の着工から完了まで一連の工事進行を見て学ぶことが出来にくい。
- ・カンの善し悪しやコミュニケーション能力の違いにより初期能力の違いが大きく発生する。
- ・様々な悪循環した結果、新卒社員が雑工扱いになってしまいかねなく、建築内装の面白さを感じる前に疲弊だけしてしまう。

■具体的な計画内容

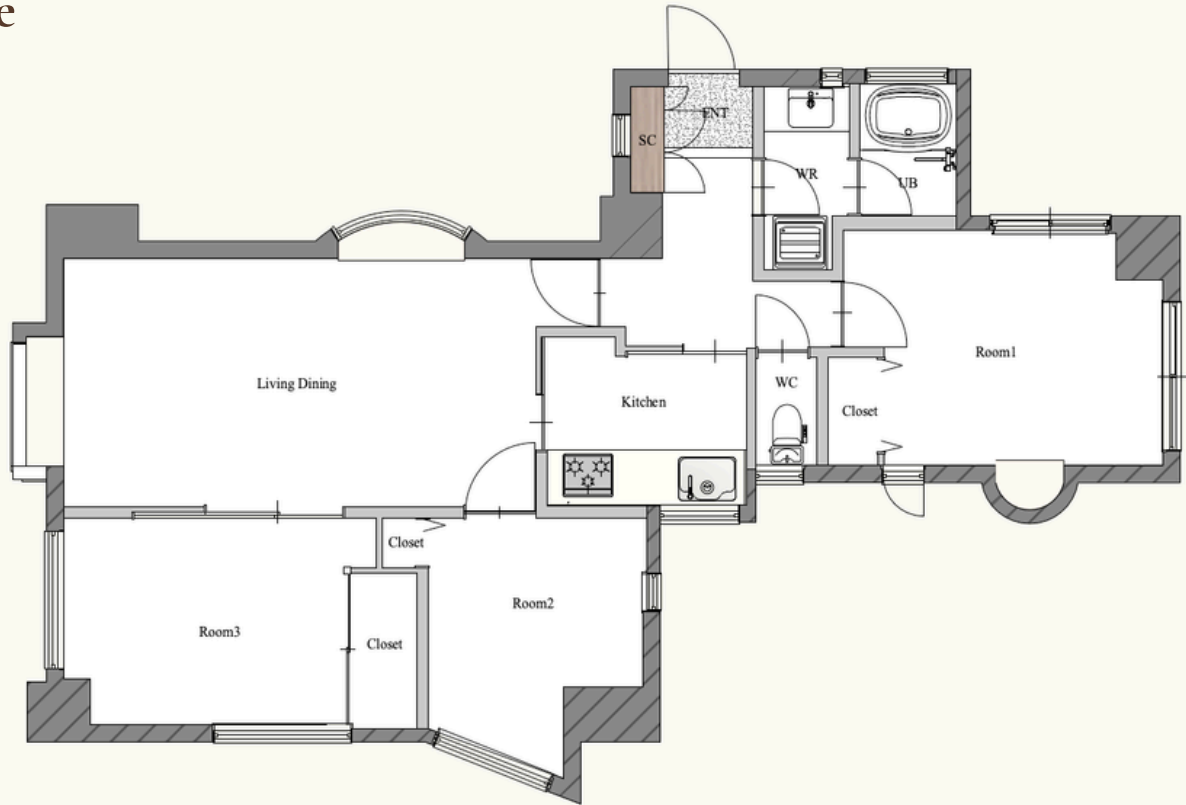
- ・新卒社員が可能な限り均一で高い知識・理解度を持った状態で現場に送り出し、即戦力化と新卒を担当する先輩社員の負担軽減を目指したく、この計画を行うものです。

- ①工事の最初から最後まで工事作業を職人さんの手伝い・レクチャーを受けながら一連の工事を学ぶ。
- ②実務で行う拾い出し・発注を実際に行う。
- ③要所で社員からのレクチャー&フィードバックを受ける。
- ④作業の状況は報告書を作成し、報告・共有する。
- ⑤全ての作業のコスト感を理解できるように指導する。

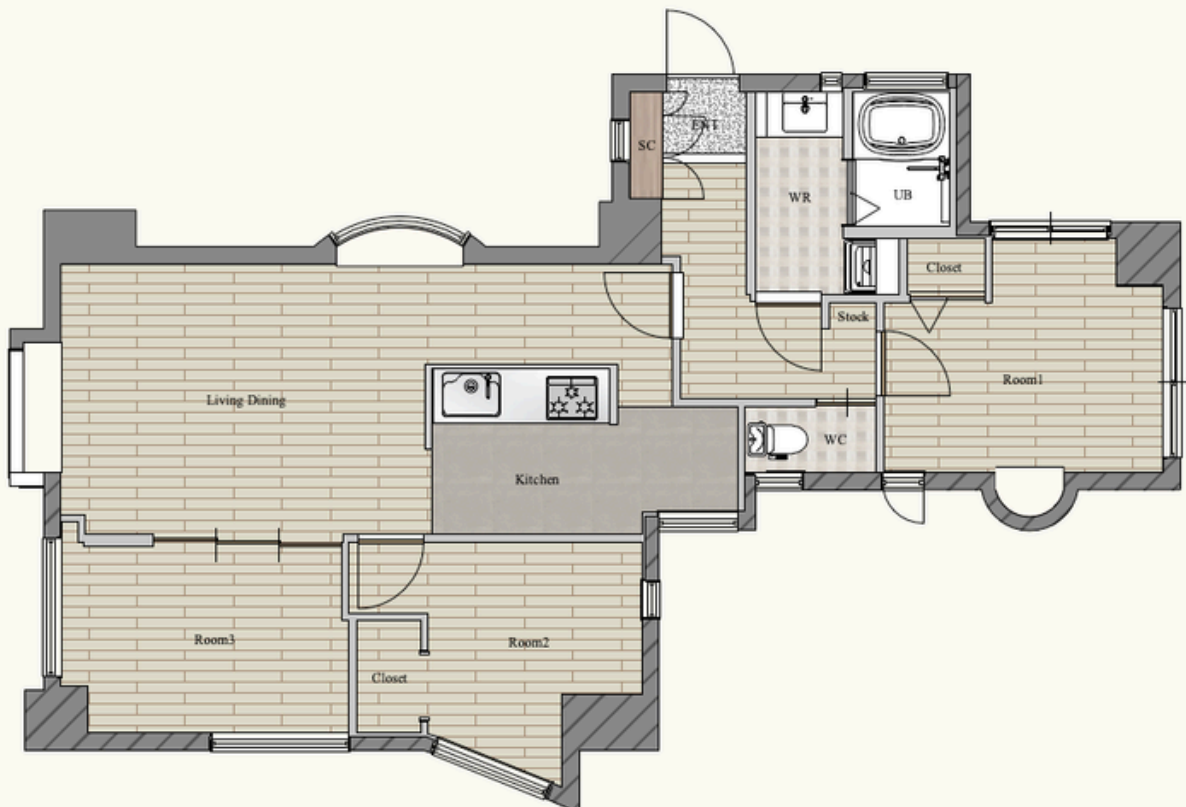
Room information

所在地 千葉県船橋市
間取り 3LDK
施工期間 2ヶ月
専有面積 68㎡

before



after



Instructor

photo by C.O text by S.T



驚くしかない知識量

いつの日かこうなれるのか。

グリーンパークの中の

充実した研修風景。

今回の研修で新卒の教育担当者として、多くの時間を私たちのために捧げてくださった副本部長。自分の本来の業務は研修終了後に行っていると聞き、感謝してもきれません。

新卒目線から見ても分かるほどの圧倒的知識量で、生意気な発言になってしまいますが、教育能力の異常な高さを身をもって実感させていただきました。

この会社に限った良い雰囲気なのかもしれませんが、上司の方々がとても接しやすく、いい意味で私たちの想像を壊されました。

この写真は新卒全員で、軽量鉄骨の組み立てを体験している際の写真です。副本部長の気さくな提案のおかげで、一般的な研修の中では、やるはずのない体験をさせていただけたのも、非常に楽しい思い出となりました。

K
G
R
I
T



DEMOLITION WORK

PREPARING THE SITE FOR
THE NEXT STAGE

KAITAI

解体工事は、建物の改修や新たな施工を行うために既存の内装や設備を撤去する重要な工程です。

現場では安全管理を徹底しながら作業が進められており、周囲への配慮や作業手順の確認が欠かせないことを学びました。

また、解体作業はただ壊すだけではなく、次の工程が円滑に進むよう計画的に進める必要があることを知りました。

実際に作業を見て、職人の方々が安全と効率を両立させながら作業している姿が印象的でした。

今回の経験を通して、建設工事における解体工事の重要性と、安全に作業を行うことの大切さを実感しました。



SUMIDASHI

墨出しは、図面をもとに建物の位置や寸法を現場へ正確に示す重要な作業です。わずかな誤差が施工全体に影響するため、慎重な確認と正確な測定が求められます。



リビング



トイレ



洋室3



トイレ

墨壺やレーザー等を駆使し、先輩方にコツや注意点を教えてもらいながら実際に墨出しを行い、工事における基準づくりの重要性を学びました。正確な測定が必要で緊張感がありましたが、作業を通して責任の大きさとやりがいを感じました。



LGS



LGS（軽量鉄骨）取付は、壁や天井の下地となる重要な工程です。部材の位置や水平・垂直を確認しながら施工を行い、正確な取付が仕上がりの品質につながることを学びました。作業では細かな調整が必要で大変でしたが、建物の骨組みが形になっていく達成感を感じました。

LGS INSTALLATION
BUILDING THE FRAMEWORK FOR QUALITY

RAISED FLOOR

置床

床下配管や他の躯体などの段差を平滑にする為に床高を上げる置床作業です。元々予定していた範囲以上に施工範囲が増えてしまいどうなってしまうのかと心配しましたが、それによる工程の遅れなどの問題が無かったので安心しました。



WOODEN JOINERY ASSEMBLY

木製建具

木製の扉枠を取り付けている作業状況です。この時はまだ枠のみで取り付けビスが見えていた為、どう仕上がるのかと思いましたが扉を取り付ける際に戸当たりが付き、きれいに取まりました。



DRYWALL INSTALLATION

石膏ボード張り

石膏ボード張りの作業状況です。LGSのみの状態では部屋と部屋が見えていましたが、石膏ボードを張ることでそれぞれが独立した部屋になっていき、完成に近づいてきたことを実感しました。

PAINTING

塗装

窓枠の塗装作業では、塗料を均一に塗り広げ、美しく仕上げるための技術を学びました。



SAKAN

左官工事では、モルタルの打設作業を体験しました。

モルタルを均一な厚さで施工するためには、コテの使い方や力加減が重要であり、見た目以上に繊細な作業であることを学びました。

また、表面を平らに仕上げるためには集中力と丁寧さが求められ、職人さんの高い技術力を実感しました。

PROTECT

養生

フローリング養生は、施工済みの床を傷や汚れから守るために行う重要な作業です。

工事中は工具や資材の搬入・搬出が頻繁に行われるため、床材を保護することで仕上がりの品質を維持することができます。

養生材を隙間なく丁寧に敷き込み、ずれやめくれが起きないように注意しながら作業を行いました。



VOICE

S.T

自分が現場に出て業務を正常に行えるかが心配な状況でしたが、丁寧な説明・解説や質問に対する回答、そして研修の環境・雰囲気のすべてが私にとって完璧でした。今後はこの研修で学習した全てのことを生かし、KGRITの活躍に貢献できるよう最善の努力を尽くしたいと考えております。

K.O

研修を通し、工事の流れや工程管理、安全管理の重要性について学ぶことができました。現場では多くの職人の方々との連携が重要であり、コミュニケーションを取ることが大切だと分かりました。これから、研修で学んだことを生かし、施工管理として現場をまとめていきたいです。

H.O

二か月間の研修を通して、改装工事はただ作業をするだけではなく一つ一つの工程に意味があると実感しました。思うように進まないこともありましたが、完成した部屋を見た時の達成感が大きく感じられ、この作業をしている間も、過去の業務を振り返ると二か月の間で着実に成長できていると感じました。

C.O

学生の頃に教科書などで学んだ内容を実際の現場で見ることによって理解度が深まり、知識と実務を結び合わせて学ぶことが出来ました。また、現場での工夫や重要性についても理解を深めることができ、とても有意義な研修になりました。

D.T

現場研修では、工事の手順や各工程の作業内容について学ぶことができ、現場での判断力が大事だと感じました。

実際に施工現場を通して現場の理解を深めることができました。

T.N

今回の研修を通して、施工技術や安全管理の重要性を学ぶことができました。実際の作業を体験し、職人さんの高い技術力や仕事の大変さを知る貴重な経験となりました。また、研修のために改修現場を提供してくださった会社に感謝し、この経験を今後の業務に活かしていきたいと思っております。

Y.I

今まで図面補助や現場同行をさせていただく中で分からなかったことや、施工の流れ、納まりについて、実際の研修を通して学ぶことができ、貴重な施工経験もさせていただきました。

現場で得た学びを図面作成を含めた業務に活かし、少しでも早く成長し、会社に貢献できるよう努めてまいります。今回の研修は大変有意義な経験となりました。

N.Y

材料の拾いや補修工事など、これまであまりしてこなかった作業や見たことのない工種の作業を見ることができて、新たな学びを得ることができました。今回の研修を自分の知識に落とし込み、今後の工事で役立てていきます。